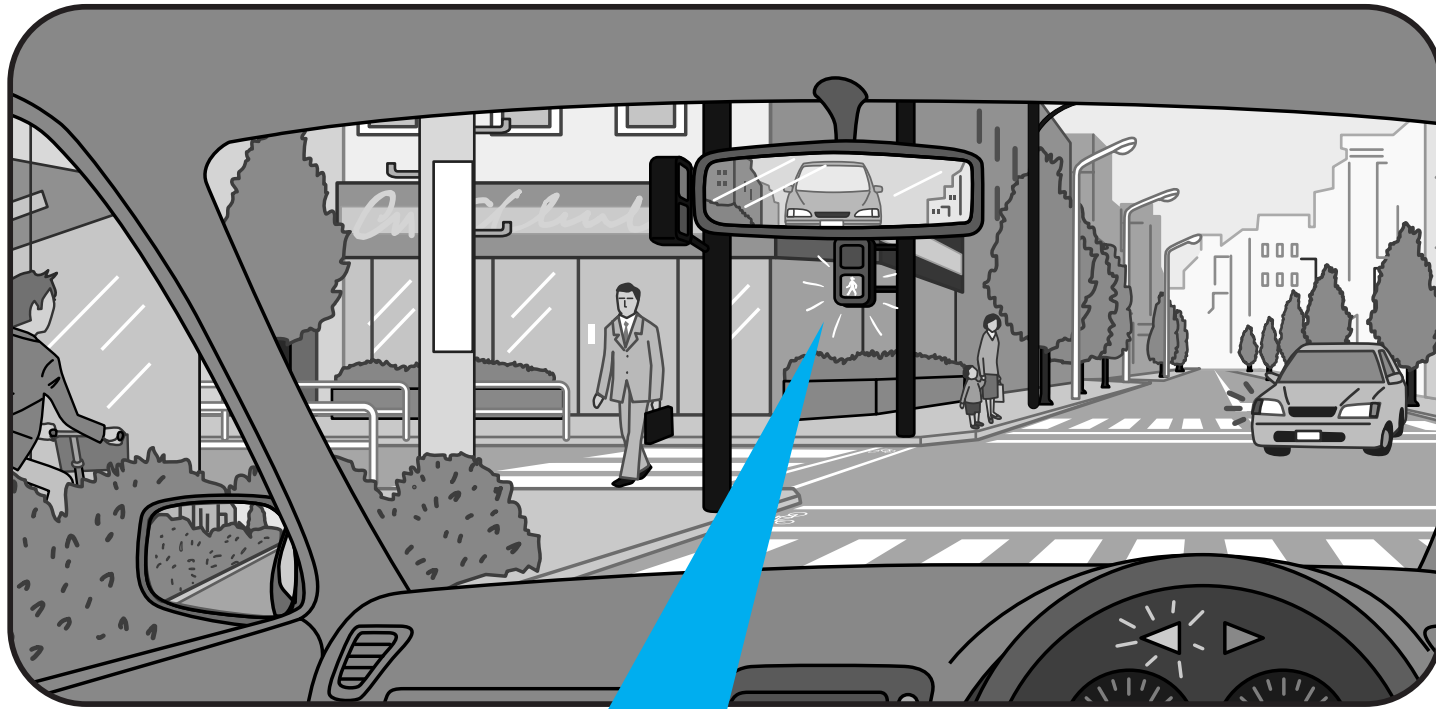


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第19回 交差点の左折時 (四輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回はドライバーに、交差点を左折する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりま
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記SJ-Netでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736  
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは交差点を左折しようとしています。  
歩行者・自転車専用の信号機が点滅を始めました。

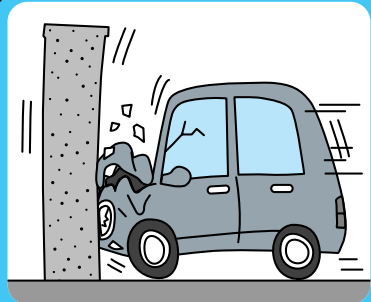
安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

SJクイズ?

Q1 クルマが40km/hでコンクリートの壁に衝突した場合、乗員には自分の体重の約何倍以上の力がかかると言われているでしょうか？

- ① 約5倍
- ② 約10倍
- ③ 約20倍
- ④ 約30倍



Q2 平成21年中の自動車乗車中のシートベルト(チャイルドシートを含む)着用有無別の致死率を座席位置別にみると、後部座席において非着用者の致死率は着用者の約何倍でしょうか？

- ① 約2.8倍
- ② 約3.8倍
- ③ 約4.8倍
- ④ 約5.8倍

Q3 平成22年の警察庁とJAFによる調査で、一般道において後部座席同乗者のシートベルト着用率は何%だったでしょうか？

- ① 約33%
- ② 約50%
- ③ 約66%
- ④ 約90%



※「解答」は7面下。「解説」は下記SJ-Netでご覧いただけます。

ホンダ SJ

検索

©本田技研工業(株)

交通安全指導

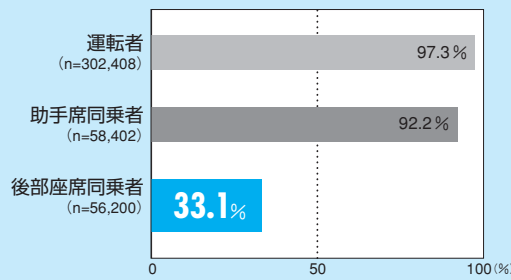
知っ得情報

このコーナーでは、交通安全指導に関わっている方々に役立つ情報を提供しています。

一般道路と高速道路での後部座席シートベルト着用率

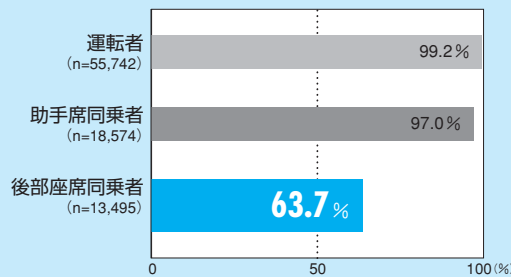
昨年10月1日から10日にかけて、警察庁とJAF(社)日本自動車連盟)との合同による「シートベルト着用状況全国調査」が実施された。調査は一般自動車道全国779カ所、高速自動車道等全国104カ所で、「営業用プレートの車両、外部に荷台を有する貨物車(含む軽四貨物)」を除く車両に乗車している人を対象としている。

●一般道におけるシートベルト着用状況調査結果



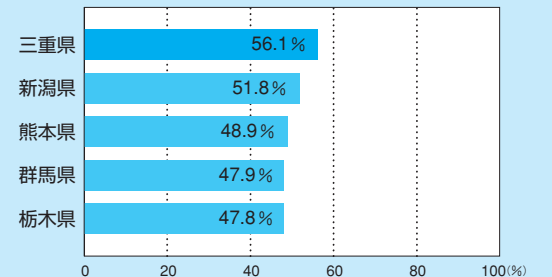
後部座席同乗者は33.1%で前年より0.4ポイント低下した。

●高速道路等におけるシートベルト着用状況調査結果

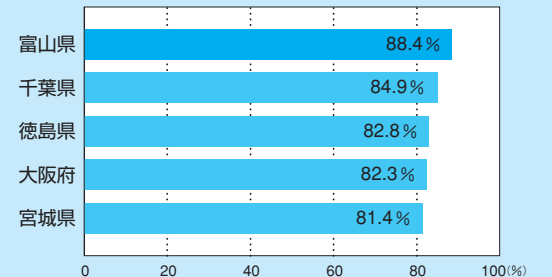


後部座席同乗者は63.7%で前年より0.3ポイントの上昇にとどまった。

●一般道路における後部座席同乗者の着用率の高い上位5県



●高速道路における後部座席同乗者の着用率の高い上位5県



後部座席でシートベルトを着用していないと、交通事故にあった時、

- 車内の構造物に激突するなど大きな被害を受ける
- 車外へ放出される
- 前席の同乗者に危害を加える

などの危険性がある。

後部座席での着用率は前席ほど高くないが、万一の時に非着用の被害は前席と変わらない。自分や同乗者の命を守るために、シートベルトは全席で着用する必要があります。

※データは、警察庁・JAF「シートベルト着用状況全国調査」資料より抜粋